

令和 8 年度東京都・江戸川区合同総合防災訓練に 展示参加しました

令和 8 年度東京都・江戸川区合同総合防災訓練が 7 月 5 日（日）、江戸川区平井運動公園などの会場で開催されました。緊急地震速報利用者協議会は、一般財団法人気象業務支援センターとの共同事業として、平井運動公園での展示・体験訓練に参加いたしました。なお、本訓練への参加にあたっては、会員企業の皆様に多大なるご協力をいただきました。

今回の訓練は「大規模地震発生後の本格的な復旧・復興が進む中、猛烈な勢力の台風が接近、大雨により荒川の氾濫が発生し、江戸川区を中心とする東部低地帯で大規模な浸水被害が生じた」という想定のもとで実施されました。行政・関係機関による災害対応能力の向上や都民の安心感醸成に加え、防災への関心を高める「都民参加型」の訓練として位置付けられました。

当日は梅雨の最中で足元が悪く、小雨もばらつき、時折日が差す不安定な天候となりました。主催者側では、高温・多湿による熱中症への対策として、体調不良時の対応マニュアル配布や救護所の設置、緊急搬送体制の確保など万全の準備を整え、午前 10 時に訓練が開始されました。

当協議会のブースでは、地震からの復旧・復興作業という危険を伴う場面における「緊急地震速報」の有用性や、予報活用の効果について、会員の皆様から来場者の方々へ分かりやすく丁寧に説明していただきました。



【写真】展示、説明風景

会場となった河川敷は近隣住民の皆様の散歩コースでもあることから、非常に多くの方にご来場いただきました。用意していた「緊急地震速報利用の手引き」100部は配布終了の状態となり、お渡しできなかった皆様には深くお詫び申し上げます。熱心にお話を聞いてくださった皆様には、緊急地震速報についてこれまで以上に正しく理解していただけたものと考えます。

暑熱順化が進まない梅雨のさなか、気温 25℃、湿度 80%を超える厳しい環境下でご協力いただきました(株)ANET 様、(株)センチュリー様、明星電気(株)様には、心より厚く御礼申し上げます。



【写真】救出・救助訓練風景

(写真右：ロボット探知犬デモ)



【写真】消火訓練の風景



【写真】特殊車輛展示